

世界を見据えて武術に励む



市役所で上野市長から激励を受ける



動きの美しさに定評がある鎌田さんの演武



初めての国際大会

9月17日〜20日に韓国・亀尾市で開かれる「第9回アジアジュニア武術選手権大会」。アジア全域から集まった強豪が、武術太極拳(中国武術をもとにしたスポーツ)の技を競う。その大会に長拳、剣術、槍術の3種目で、市内在住の高校生・鎌田慎ノ介さんが代表選手に選ばれた。中でも長拳種目では北海道初の選出だ。

「海外の有名な選手に比べて、まだまだ自分は無名ですが、美しい演武で観客に強く印象付けたい。目標は金メダルです」と出場への決意を力強く語った。

伸び伸びと武術を学ぶ

父親の影響で江別市内の中国武術教室に3歳から通い、兄・健太郎さんと共に練習を積み、大会やイベントで活躍した。競技の成績よりも、伸び伸びと

アジアジュニア武術選手権大会に出場する

鎌田 慎ノ介さん

かまだ・しのすけ
虹ヶ丘在住。
千歳高校1年。4月に名古屋市で開催された「第25回」JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会兼アジアジュニア武術選手権大会日本代表候補選手選抜で、優秀な成績を収める。
6月の選考会で選出された14人の代表選手の1人として、国際大会に挑む。

学ぶことを優先した教室の方針が自分に合っていたと話す。それから徐々に実力を身に付け、国際大会に手が届くまでになった。

軽やかな動きからは分かりにくいですが、武術太極拳はかなり筋力を使うハードな競技だ。そのため体幹トレーニングやランニングなどで体力を付ける。

「できなかった技が成功したときは、本当にうれしいです」と楽しさを話した。

悔しさをばねに

時には、結果に満足できず悔しい思いをしたこともあった。そんな時は大会の映像を見直し、しっかりと反省して次に向けて気持ち切り替える。

昨年の日本代表を決める選考会で、緊張して思うような動きができず、代表の座を逃した。その悔しさをばねに猛練習し、今年は落ち着いてミスのない演武ができた。

北広島から世界へ

小学生のときは虹ヶ丘公園で鬼ごっこをしたり、エルフィンロードでサイクリングをしたりと、元気いっぱい遊んだ。その頃の話をする時は、弾けるような笑顔を見せていた。

練習の傍ら、武術教室で後輩の子どもたちに指導をしている。年齢やレベルに合わせて、優しく接することを心掛けている。「教えることで自分も上達できます。機会があれば、市内でも武術を教えたい」、イベントで演武を試みたいです。

武術太極拳はオリンピック種目になる可能性が浮上し、今後の展開が期待されている。「これから武術太極拳を続けます。オリンピックの種目になったら、ぜひ出場したい」と目を輝かせた。

世界を見据えて稽古に励む鎌田さん。今後の活躍を期待したい。

